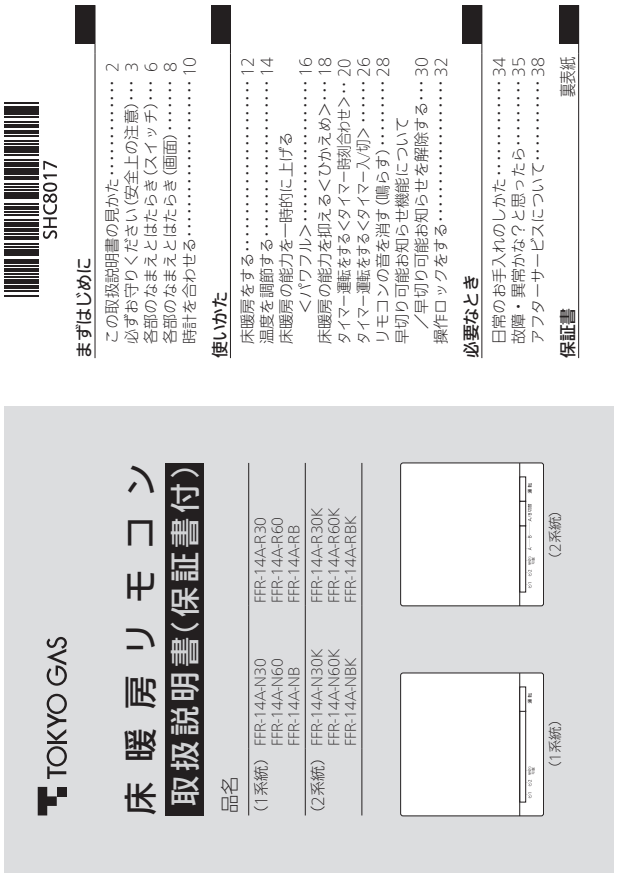
| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 取扱説明書 | FFR-14A-R30<br>FFR-14A-R60<br>FFR-14A-RB<br>FFR-14A-N30<br>FFR-14A-N60<br>FFR-14A-NB | FFR-14A-R30K<br>FFR-14A-R60K<br>FFR-14A-RBK<br>FFR-14A-N30K<br>FFR-14A-N60K<br>FFR-14A-NBK | 100493912831<br>100493912848<br>100493912849<br>100493912845<br>100493912846<br>100493912847 | 100493912832<br>100493912853<br>100493912854<br>100493912850<br>100493912851<br>100493912852 | | | 01 |

# 1. 取扱説明書



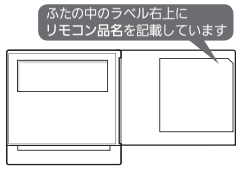
# この取扱説明書の見かた

このたびは床暖房リモコンをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
- この取扱説明書（保証書付）は熱源機の取扱説明書と併せて、いつでもご覧になれるところに保管してください。

## リモコン品名と機能をご確認ください

- リモコンのふたの裏に記載されているリモコン品名から該当する機能をご確認のうえ、取扱説明書をお読みください。（スイッチ・表示・機能などが異なります）
- 1系統：1か所の床暖房をコントロールします。　2系統：A・Bの2か所の床暖房をコントロールします。
- 室温センサー付は、室温を設定温度に保ちます。（P15）

| 機能 | 品名 | 機能 | 品名 |
|---|---|---|---|
| 1系統 | FFR-14A-N30<br>FFR-14A-N60<br>FFR-14A-NB | 1系統<br>室温センサー付 | FFR-14A-R30<br>FFR-14A-R60<br>FFR-14A-RB |
| 2系統 | FFR-14A-N30K<br>FFR-14A-N60K<br>FFR-14A-NBK | 2系統<br>室温センサー付 | FFR-14A-R30K<br>FFR-14A-R60K<br>FFR-14A-RBK |




## 文中の（P○）の数字は参照ページを表します

## 説明中のリモコン表示画面は一例です

- 実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。



# 必ずお守りください（安全上の注意）



★床暖房、床暖房リモコンに関する内容のみ記載しています。熱源機の取扱説明書と併せてご覧ください。

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

| | | |
|---|---|---|
| ⚠警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されます。 | ⚠注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定されます。 | お願い 安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。 |

## ⚠警告

必ず守る　**リモコンの設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの東京ガスに依頼する**
安全に使用していただくため。

分解禁止　**お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない**
思わぬ事故や故障の原因になります。

禁止　**床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしない**
低温やけどを起こすおそれがあります。
特に次のような方が使用される場合はまわりの方が注意してあげることが必要です。
- 乳幼児・お年寄り・病人など自分の意思で体を動かせない方
- 疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
- 皮膚や皮膚感覚の弱い方

禁止　**スプレー缶・カセットこんろ用ボンベ・ライターなどを、床暖房の上に置かない**
熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発する原因になります。

禁止　**パワフル運転（P16）でくりかえし運転したり、床があたたまっているときにパワフル運転をしたりしない**
床温が高くなりすぎて、低温やけどを起こす原因になります。

必ず守る　**地震、火災などの緊急の場合は、運転スイッチを「切」にし、熱源機の取扱説明書に従って熱源機を停止する**

**異常音・水漏れ・臭気など異常を感じた場合は、ただちに運転スイッチを「切」にし、「故障・異常かな？と思ったら」（P35～37）に従い処置をする**
**それでもなお異常のあるときは、販売店に連絡する**

# 必ずお守りください（安全上の注意）（つづき）

## ⚠注意

**床暖房は、電気カーペットやこたつなどと併用しない**
**床暖房の上に、カーペットなどを敷かない**
禁止 性能が発揮できなかったり、熱がこもって床材のひび割れ・そり・すき間・変形・変色の原因になったりします。

**床暖房に鋭利な物を落としたり、刺したり、くぎ打ちなどをしない、衝撃を加えない**
禁止 床暖房が破損し、水漏れの原因になります。

**床暖房の上に、家具などを直接置かない**
禁止 家具などに熱がこもって、ひずみなどが生じる原因になります。

**床暖房の上で、車椅子やキャスター付きの椅子・家具を使用しない**
禁止 床材の傷・へこみの原因になります。

**暖房以外の用途には使用しない**
禁止 特殊な用途（衣類の乾燥・動物の飼育・植物の栽培・食品の保存など）には使用しないでください。
思わぬ事故を予防するため。

**床暖房の上に、テレビなどのリモコンを長時間置かない**
禁止 リモコンの故障の原因になります。

**ピアノなどの重量物にはパッドなどの緩衝材を敷き、一か所に荷重がかからないように設置する**
必ず守る 床暖房が破損し、水漏れの原因になります。

**閉めきった部屋で長時間床暖房を使用する場合は、換気する**
必ず守る 閉めきった部屋で長時間使用すると、ごくまれに体調が悪くなる場合があります。窓を開けるなどして換気をしてください。
これは、接着剤や床材に含まれるホルムアルデヒドが原因のひとつと考えられますが、床暖房以外の原因も考えられるため、工事業者にご相談ください。

**床暖房の上に水などがこぼれたら、すみやかにふき取る**
必ず守る 水・薬品・しょうゆ・ペットの排泄物などがついたままにしておくと、床材の変色・腐食の原因になります。

**重量物を移動させるときは、引きずらずに持ち上げて移動させる**
必ず守る 床材の傷・へこみの原因になります。
椅子の脚など床と接触する部分には、フェルトなどを貼って保護してください。

**床下の防腐・防蟻処理時、床暖房や配管などに処理剤が付着しないよう注意する**
必ず守る 床暖房が破損し、水漏れの原因になります。





**床材のお手入れは、床材メーカーの取り扱い方法に従う**
**床材の貼り替えは、床材メーカーの指定工法で施工する**
必ず守る 詳しくは床材メーカーへお問い合わせください。

**【室温センサー付の場合】**
**室温センサーをふさいだり、室温センサーの近くに障害物を置かない**
**リモコンに直射日光や他の暖房機器の温風などを当てない**
禁止 室温を正確に検知できなくなります。

## お願い

**リモコンは0℃～40℃の室温で使用する**
故障の原因になります。

**リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使用しない**
変色や変形などの原因になります。

**リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない**
炊飯器、電気ポット、加湿器などに注意。
故障の原因になります。

**リモコンを子供がいたずらしないよう注意する**

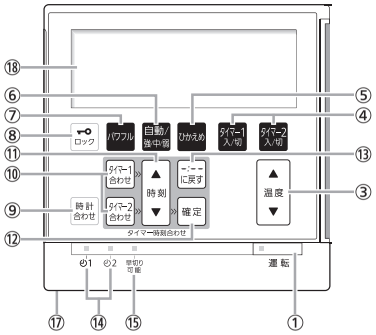
**停電すると、運転が停止します**

**停電後や、長期不在などで熱源機の電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する**
時計がリセットします。

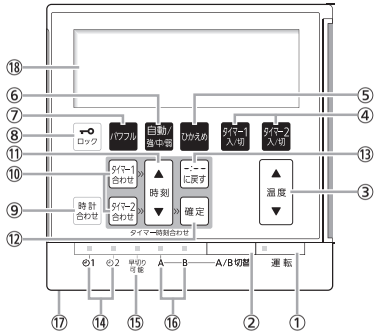
**表示画面を強く押さない**
液晶が破損する場合があります。

# 各部のなまえとはたらき（スイッチ）

●1系統室温センサー付（ふたを開けた状態）
FFR-14A-R30, FFR-14A-R60, FFR-14A-RB




●2系統室温センサー付（ふたを開けた状態）
FFR-14A-R30K, FFR-14A-R60K, FFR-14A-RBK




●室温センサーがないリモコンは⑥床暖房強さスイッチと⑰室温センサーはありません
1系統：FFR-14A-N30, FFR-14A-N60, FFR-14A-NB　2系統：FFR-14A-N30K, FFR-14A-N60K, FFR-14A-NBK

※この取扱説明書では、主に2系統室温センサー付のリモコンのイラスト・表示で説明しています。



**① 運転スイッチ・ランプ（緑または赤）**
床暖房の運転入・切に。（P12）
緑：通常運転中
赤：パワフル運転中

**② A/B切替スイッチ**
［2系統のリモコンのみ］
床暖房A・床暖房Bの切り替えに。（P12）

**③ 温度調節スイッチ**
床暖房の温度調節に。（P14）

**④ タイマー1（タイマー2）入/切スイッチ**
床暖房のタイマー1（タイマー2）の入・切に。（P26）

**⑤ ひかえめスイッチ**
ひかえめ設定をするときに。（P18）

**⑥ 床暖房強さスイッチ**
［室温センサー付のリモコンのみ］
室温に関わらず、一定の強さで運転したいときは、強さを選択してください。（P15）

**⑦ パワフルスイッチ**
パワフル運転をするときに。（P16）

**⑧ ロックスイッチ**
操作ロックをするときに。（P32）

**⑨ 時計合わせスイッチ**
時計合わせに。（P10）

**⑩ タイマー合わせスイッチ**
タイマー時刻合わせに。（P20）

**⑪ 時刻スイッチ**
- 時計合わせに。（P10）
- タイマー時刻合わせに。（P20）
- リモコンの音を消す（鳴らす）ときに。（P28）
- 早切り可能お知らせ機能を解除するときに。（P30）

**⑫ 確定スイッチ**
- 時計を確定するときに。（P10）
- 時刻設定を確定するときに。（P21）

**⑬ --:--に戻すスイッチ**
タイマー時刻をリセットするときに。（P21）

**⑭ タイマーランプ（オレンジ）**
タイマー1・タイマー2が「入」のときに点灯します。（P27）

**⑮ 早切り可能ランプ（緑）**
運転時間が約2時間たつと、点灯します。（P30）
このランプの点灯中は、運転スイッチ「切」にしても30分程度（目安）はあたたかさを保てます。

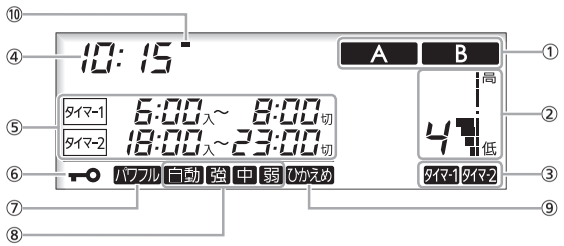
**⑯ 床暖房A・Bランプ（緑）**
［2系統のリモコンのみ］
運転中の床暖房が点灯します。（P13）

**⑰ 室温センサー**
［室温センサー付のリモコンのみ］
四角い穴の部分で室温を測ります。（P15）

**⑱ 表示画面**
（P8）

## 各部のなまえとはたらき（画面）

●2系統室温センサー付の表示例




※1系統のリモコンは、①運転中マークは表示しません。
※室温センサーなしのリモコンは、⑧床暖房強さ表示は表示しません。

**① 運転中マーク**
［2系統のリモコンのみ］
運転中の床暖房を表示します。（P13）

**② 設定温度表示**
設定温度を1～9段階で表示します。（P15）

**③ タイマー表示**
設定しているタイマー（1または2）を表示します。（P27）

**④ 時計表示**

**故障表示**
不具合が生じたとき、故障表示をします。（P35）

**⑤ タイマー時刻表示**
タイマーの入時刻・切時刻を表示します。（P21）

**⑥ 操作ロックマーク**
操作ロック中に表示します。（P33）

**⑦ パワフル表示**
パワフル運転中に表示します。（P17）

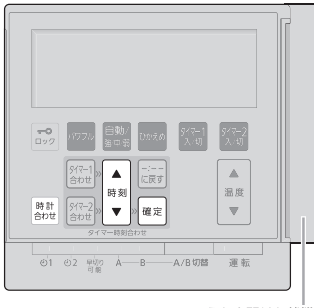
**⑧ 床暖房強さ表示**
［室温センサー付のリモコンのみ］
床暖房強さを表示します。（P15）

**⑨ ひかえめ表示**
ひかえめ設定時に表示します。（P19）

**⑩ 早切り可能お知らせ解除マーク**
早切り可能お知らせを解除すると表示します。（P31）

# 時計を合わせる

［例：2系統室温センサー付］




ふたを開けた状態

**お知らせ**

- 停電後または熱源機の電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「−：−−」になりますので、時計を合わせ直してください。

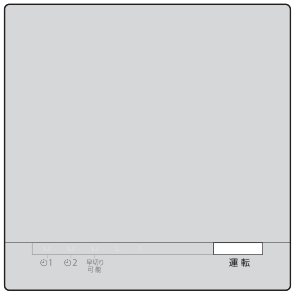




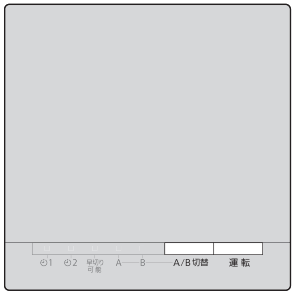
| 操作 | 操作後の画面 | お知らせ |
|---|---|---|
| **1** ふたの中の［時計合わせ］を押す | 点滅 −：−− （表示例） | ●運転スイッチの「入」「切」に関係なく、設定できます。 |
| **2** ［▲時刻▼］で時計を合わせる | 点滅 10：15 （例：午前10時15分） | ●一度押すごとに1分ずつ、長押しすると10分ずつ変わります。 |
| **3** ［確定］を押す<br>**【設定完了】** | ここのみ点滅 10：15 （例：午前10時15分） | ●約60秒そのままにしても設定完了します。 |

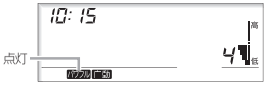
## 床暖房をする

［1系統］




［2系統］



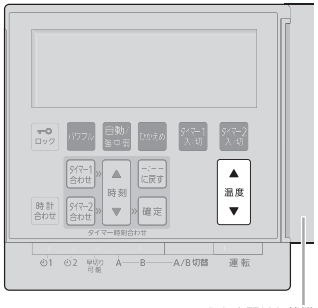

| 操作 | 操作後の画面 | お知らせ |
|---|---|---|
| **1** ［1系統の場合］<br>運転スイッチを「入」にする |  <br>（1系統室温センサー付の表示例） | ●運転ランプ点灯（赤）。<br>●前回の設定内容で開始します。<br>●熱源機が自動的に運転を開始します。<br>［2系統の場合］<br>●毎回、床暖房A・B両方の運転で開始します。<br>●床暖房A・Bランプ点灯（緑）。<br>●［　］（A/B切替）を押すごとに床暖房A・Bが切り替わります。<br>●約30～60分後にパワフルが消灯し、運転ランプが緑に変わります。 |
| ［2系統の場合］<br>①運転スイッチを「入」にする<br>②［　］（A/B切替）で、床暖房したい場所を選ぶ | <br>（2系統室温センサー付の表示例） | |
| ● 床暖房を停止したいとき | | |
| 運転スイッチを「切」にする | <br>（2系統室温センサー付の表示例） | ●運転ランプ消灯。<br>●熱源機が自動的に運転を停止します。<br>［2系統の場合］<br>●床暖房A・Bランプ消灯。 |

**お知らせ**

●通常、運転スイッチ「入」にすると「パワフル」運転（P16）から始まります。（あたたまっているときなど「パワフル」運転から始まらない場合もあります）

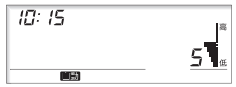
# 温度を調節する

［例：2系統室温センサー付］




ふたを開けた状態



| 操作 | 操作後の画面 | お知らせ |
|---|---|---|
| **1** ふたの中の ▲温度▼ で調節する | 10:15  | ● 運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。<br>● 1～9で設定できます。<br>初期設定（工場出荷時）は4です。 |

（室温センサー付の表示例：温度5に設定）





## 温度調節について

**●室温センサー付の場合**

① 自動 を表示している場合は、室温を設定温度に保ちます。
表示「4」の目安温度は約20℃です。
（目安のため、建物や外気温などの条件により、実際の室温とは異なることがあります）

②室温に関わらず、一定の強さで運転したい場合は、自動/強・中・弱 で床暖房強さ「強」「中」「弱」のいずれかを選択してください。

・押すごとに切り替わります。自動 ▶ 強 ▶ 中 ▶ 弱

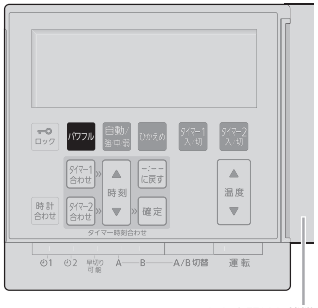
・「強」「中」「弱」を選択すると、設定温度表示が消灯し、温度調節はできません。

**●室温センサーなしの場合**

体感に合わせて、お好みで調節してください。

## 床暖房の能力を一時的に上げる＜パワフル＞

［例：2系統室温センサー付］




ふたを開けた状態

- 床暖房を早くあたためたいときに。
- 温度表示はそのままで、約30～60分間最大能力で運転します。（その後、通常運転に戻ります）

**お知らせ**

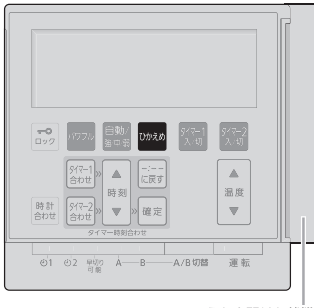
- 通常、運転スイッチ「入」にすると「パワフル」運転から始まります。（あたたまっているときなど「パワフル」運転から始まらない場合もあります）
- 床温や室温が熱いと感じたら、「パワフル」を解除してください。
- 「パワフル」と「ひかえめ」(P18)が同時にはたらくと、「パワフル」の運転時間は約1/3に短縮します。



| 操作 | 操作後の画面 | お知らせ |
|---|---|---|
| **1** 運転スイッチ「入」中にふたの中の パワフル を押す | 点灯 （表示例） | ●「パワフル」運転中は、運転ランプが赤で点灯します。（時間がたって通常運転に戻ると、緑に戻ります）<br>●床暖房A・Bとも設定されます。（別々に設定できません） |
| **●パワフル運転を解除したいとき** | | |
| パワフル を押す | 消灯 | ●運転ランプが緑に戻ります。 |

## 床暖房の能力を抑える＜ひかえめ＞

［例：2系統室温センサー付］




ふたを開けた状態

- 春先や秋口など、ふだんの設定の床暖房をするとあたたまりすぎると感じるときに。
- 温度表示はそのままで、通常よりも能力を抑えて運転するので、暑くなりすぎません。

**お知らせ**

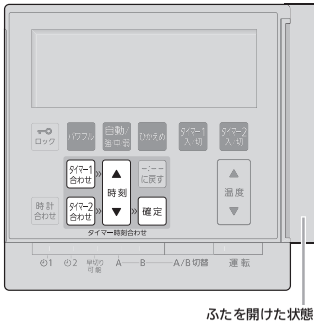
- 「ひかえめ」設定をすると、運転スイッチ「入」にしたときの「パワフル」運転の時間は約1/3に短縮します。



| 操作 | 操作後の画面 | お知らせ |
|---|---|---|
| **1** ふたの中の ひかえめ を押す | 10:15 高 低 ヒータ ひかえめ<br>点灯<br>（表示例） | ● 運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。<br>● 床暖房A・Bとも設定されます。（別々に設定できません） |
| ● ひかえめ設定を解除したいとき | | |
| ひかえめ を押す | 10:15 高 低 ヒータ<br>消灯 | |

# タイマー運転をする＜タイマー時刻合わせ＞

［例：2系統室温センサー付］




ふたを開けた状態

- P20〜22の方法でタイマー時刻合わせをし、P26の方法でタイマー「入」にしておくと、運転スイッチ「入」「切」に関係なく、自動的に床暖房を開始または停止します。
- 1日のうち タイマー1 タイマー2 の2パターンのタイマー設定ができます。
- 入時刻・切時刻のどちらかのみ設定すれば、入タイマー・切タイマーとして動作します。（P25）
- 2系統の場合、タイマー1 タイマー2 で設定した時刻は、床暖房A・B共通の時刻となります。

**お知らせ**

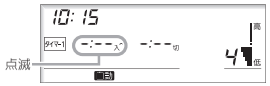
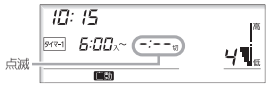
- タイマー入設定中は、タイマー時刻の変更はできません。（ピピピと鳴り、タイマー表示が3回点滅してお知らせします）
  一度タイマー切にしてから変更してください。







**● 自動で床暖房をする時間帯を、タイマー1 に6時〜8時、タイマー2 に18時〜23時を設定する例で説明します**

| 操作 | 操作後の画面 | お知らせ |
|---|---|---|
| **準備**<br>● 現在の時刻が正しいかどうか確認する<br>● タイマーが「切」であることを確認する | | ● P10「時計を合わせる」 |
| **1** ふたの中の タイマー1 合わせ を押す<br>（入時刻設定） |  <br>点滅<br>（表示例） | ● 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、設定できます。<br>● 前回設定した「入」時刻を表示します。 |
| **2** ▲ 時刻 ▼ で入時刻を設定し、<br>確定 を押す<br>【入時刻設定完了】<br>（切時刻設定へ） |  <br>点滅<br>（例：入時刻 午前6時00分） | ● 一度押すごとに10分ずつ、長押しすると1時間ずつ変わります。<br>● 前回の設定でよければ、「入」時刻設定せず、次の操作3をおこなってください。<br>● 「入」時刻を設定しない場合は、「−:−−」に設定してください。<br>（ニュートラルに戻す を押す）<br>● 約60秒そのままにすると、タイマー時刻合わせが完了します。 |

（つづく）

# タイマー運転をする＜タイマー時刻合わせ＞（つづき）

（つづき）

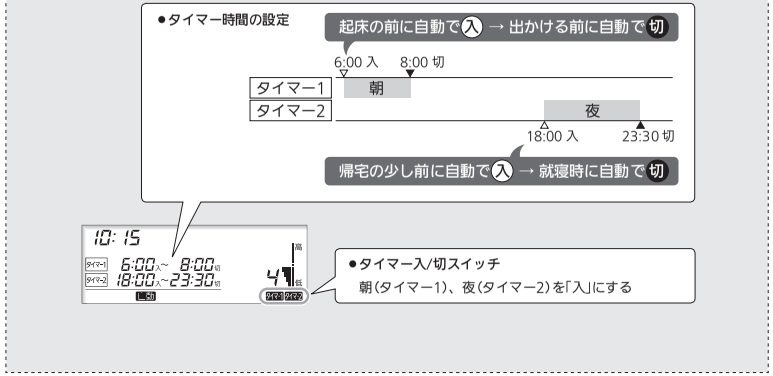
| 操作 | 操作後の画面 | お知らせ |
|---|---|---|
| **3** ▲時刻▼ で切時刻を設定し、<br>確定 を押す<br>**【切時刻設定完了**<br>タイマー1 **時刻合わせ完了】** | 約30秒間点滅→消灯<br> <br>（例：切時刻 午前8時00分） | ●前回設定した「切」時刻を表示します。<br>●「切」時刻を設定しない場合は、「－：－－」に設定してください。<br>（-:--に戻す を押す）<br>●約60秒そのままにしても、タイマー時刻合わせが完了します。<br>●切時刻設定完了時に時計合わせをしていない場合は、時計表示が点滅しますので、そのまま時刻スイッチで時計合わせをしてください。 |
| **4** タイマー2 の設定も、同様に<br>ふたの中の タイマー2合わせ を押して<br>操作**1**～**3**の手順で<br>設定する | <br>（例：タイマー1,2とも時刻設定完了） | |

タイマー時刻合わせ完了後、P26の方法でタイマー「入」にしてください



タイマーの活用例① 毎日、朝と夜の決まった時間帯に床暖房をする

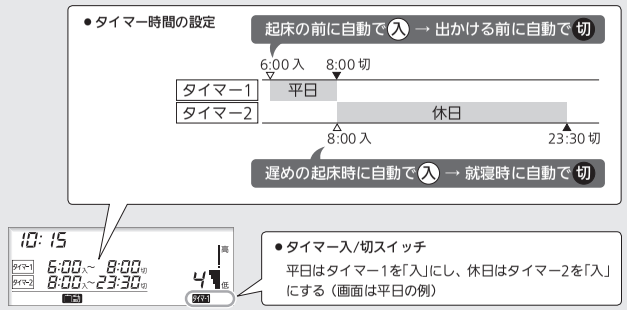
例）タイマー1 に朝の時間帯を、タイマー2 に夜の時間帯をそれぞれ設定します。



# タイマー運転をする＜タイマー時刻合わせ＞（つづき）

タイマーの活用例② 平日と休日で使い分ける

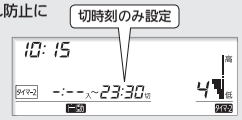
例）平日と休日の設定を、タイマー1 と タイマー2 に振り分けます。



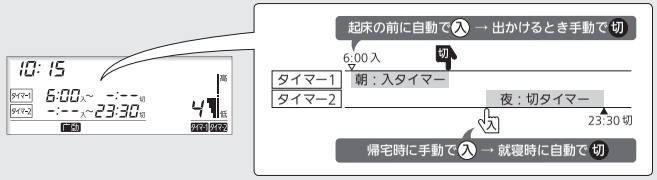

●応用● 例のように、タイマー1とタイマー2の時間帯がつながっている場合や重なっている場合は、タイマー1・タイマー2の両方を「入」にすれば、タイマー1とタイマー2が連続して運転します。

タイマーの活用例③ 入タイマーとして使う

タイマーの活用例④ 切タイマーとして使う




●応用1● 入タイマー・切タイマーを組み合わせる（タイマー1・タイマー2それぞれに「入タイマー」「切タイマー」を設定）

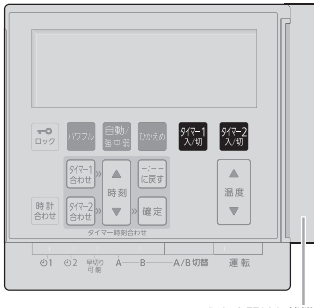



●応用2● 応用1の設定で、タイマー1・タイマー2の両方を「入」にした場合、タイマー1を手動で切らなければ、そのままタイマー2の切タイマー時間に床暖房が停止します。

使いかた

# タイマー運転をする<タイマー入/切>

［例：2系統室温センサー付］




ふたを開けた状態

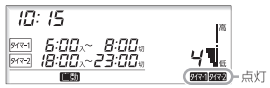
● P20〜22の方法でタイマー時刻合わせをしてから、タイマー「入」にしてください。

**お知らせ**

● タイマー入設定中は、タイマー時刻の変更はできません。（ピピピと鳴り、タイマー表示が3回点滅してお知らせします）
一度タイマー切にしてから変更してください。

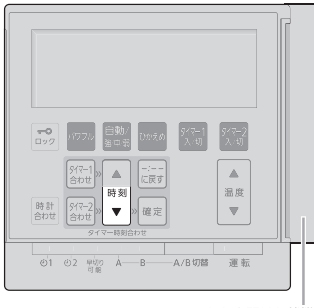




| 操作 | 操作後の画面 | お知らせ |
|---|---|---|
| **準備**<br>● 現在の時刻が正しいかどうか確認する<br>● タイマー時刻合わせをしていることを確認する | | ● P10「時計を合わせる」<br>● P20「タイマー運転をする<タイマー時刻合わせ>」 |
| **1** ふたの中の タイマー1 入/切 または タイマー2 入/切 を押す<br>**【タイマー入設定完了】**<br>※タイマー切設定は、この方法でタイマー表示を消灯させてください |  <br>（例：タイマー1,2を設定） | ● 運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。<br>● タイマー入設定すると、タイマーランプ点灯。<br> <br>（左記の表示時の例） |
| **【タイマー設定時刻になると】**<br>タイマー入時刻になると、運転を開始します<br>タイマー切時刻になると、運転を停止します | <br>（例：2系統室温センサー付タイマー1で運転中） | ● タイマー入時刻になると、運転中マーク（2系統のみ）と運転ランプ点灯。<br>タイマー切時刻になると、運転中マーク（2系統のみ）と運転ランプ消灯。<br>［2系統の場合］<br>● 床暖房A・Bとも運転開始または停止します。 |

## リモコンの音を消す（鳴らす）

［例：2系統室温センサー付］




ふたを開けた状態

- スイッチの操作音や各お知らせ音を、鳴らないようにしたり、鳴るようにしたりできます。
（お買い上げ時は、鳴るように設定しています）

リモコンの音の種類

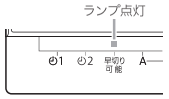
| 音 | こんなときに音が鳴ります |
|---|---|
| ピッ | スイッチ操作 |
| ピピッ | 運転「入」 |
| ピピピ | 操作を受け付けられないとき |
| ピピピピピ | 操作ロックできないとき<br>操作ロック中に運転「入」にしたとき |
| ピーピーピー | 故障表示が出たとき |

| 操作 | お知らせ |
|---|---|
| **1** ふたの中の時刻スイッチの［時刻 ▼］を、長押しする（約5秒） | ● 運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。<br>● 操作音を鳴らす設定にしたときは、「ピッ」と音がします。<br>操作音を消す設定にしたときは、音はしません。 |

## 早切り可能お知らせ機能について／早切り可能お知らせ　を解除する

**早切り可能お知らせ機能とは**

運転時間が約2時間たって、充分部屋があたたまり、運転スイッチ「切」にしても床暖房の蓄熱効果で30分程度(目安)はあたたかさを保てるようになると、「早切り可能ランプ」が点灯してお知らせします。



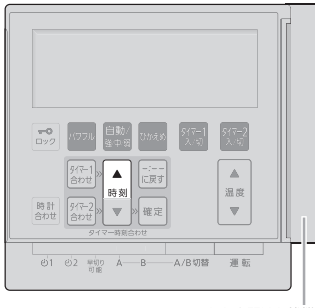

[2系統の例]

早めに運転スイッチを「切」にすることで、省エネにつながります。

例) リビングの早切り可能ランプが点灯していれば、寝室に行く約30分前に運転スイッチ「切」にしても、おやすみの時間までリビングであたたかく過ごせます。

●早切り可能お知らせが必要ないときは、解除することができます。

[例：2系統室温センサー付]




ふたを開けた状態

**お知らせ**

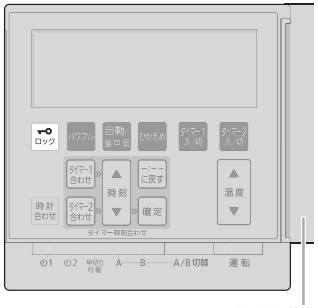
●「早切り可能ランプ」の点灯は、蓄熱効果が発揮できる状態の目安です。住宅の構造や外気温・室温等で蓄熱効果は異なり、あたたかさの感じかたにも個人差があるため、運転スイッチを「切」にするタイミングはお好みで調整してください。

| 操作 | 操作後の画面 | お知らせ |
|---|---|---|
| **1** ふたの中の時刻スイッチの ▲ 時刻 を約5秒長押しする (ピッと鳴るまで) | 点灯<br> <br>(表示例) | ●運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。 |
| **● 早切り可能お知らせ機能を戻したいとき** | | |
| 操作**1**を再度おこなう | 消灯<br> | |

使いかた

## 操作ロックをする

［例：2系統室温センサー付］




ふたを開けた状態

● お子さまがさわったり、誤ってスイッチを押したりしても、作動しないようにスイッチをロックできます。

| 操作 | 操作後の画面 | お知らせ |
|---|---|---|
| **1** タイマーと運転スイッチが「切」になっていることを確認する | | ● 運転スイッチ「入」中・タイマー「入」中は、操作ロックできません。（ピピピピピと鳴ってお知らせします） |
| **2** ロック を約3秒長押しする（ピッと鳴るまで） | 点灯 | ● 表示が消えます。 |
| ● 操作ロックを解除したいとき | | |
| ロック を約3秒長押しする（ピッと鳴るまで） | 消灯 （表示例） | ● 再表示します。 |

## 日常のお手入れのしかた

- リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。
- 乾いた布でふいた場合は、表示画面（液晶部）が乱れることがありますが、故障ではありません。しばらく放置すると元の状態に戻ります。

| | |
|---|---|
| お願い | **リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使用しない**<br>変色や変形などの原因になります。 |
| | **リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない**<br>炊飯器、電気ポット、加湿器などに注意。故障の原因になります。 |





## 故障・異常かな？と思ったら

★床暖房、床暖房リモコンに関する内容のみ記載しています。熱源機の取扱説明書と併せてご覧ください。

**リモコン**

| こんなときは | こんなことが考えられます | 処置 |
|---|---|---|
| **運転ランプが点滅している**<br>**3桁の数字（故障表示）が点滅している** | 【室温センサー付の場合】<br>運転スイッチ「入」時、リモコンの時計表示部に「314」を表示している場合は、床暖房リモコンに不具合が発生しています。 | 販売店または、もよりの東京ガスにご連絡を。 |
| | 上記以外の場合は、熱源機に不具合が発生しています。 | 該当する故障表示の処置をする。（熱源機の取扱説明書をご確認ください） |
| **時計表示が「－：－－」になっている** | 停電後または熱源機の電源プラグを抜いたあと、再通電すると、時計が「－：－－」になります。 | 時計を合わせ直す。（P10） |
| **タイマー「入」にできない** | 時計合わせ、またはタイマー時刻合わせをしていない。 | 時計を合わせる。（P10）<br>タイマー時刻合わせをする。（P20） |
| **リモコンのスイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている** | リモコンの表面には、出荷時に保護シート（表面に傷などがつかないようにするためのもの）が貼ってあります。この保護シートは、はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。保護シートをはがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてきたりしますが、そこからリモコンに水などが入って故障することはありません。 | 気になる場合は保護シートをはがす。 |

# 故障・異常かな？と思ったら（つづき）

## 床暖房

| こんなときは | こんなことが考えられます | 処置 |
|---|---|---|
| **床暖房がなかなかあたたまらない** | 床材の種類・外気温度・住宅構造などによって、あたたかくなるまでの時間は異なります。（目安：1時間程度） | 異常ではありません。 |
| | 【室温センサー付の場合】<br>リモコンに直射日光が当たったり、リモコンの近くにストーブなどの暖房放熱器がある場合は、リモコン周辺のみ温度が上がります。それにより、部屋全体があたたまっていると室温センサーが判断し、床暖房の温度をおさえめにします。 | カーテンやブラインドで日差しをさえぎったり、リモコンから暖房放熱器を離す。 |
| **床暖房で床面のあたたかさが場所によって異なる** | 温水配管内に温水を循環させて床をあたためるしくみになっています。温水配管の通っているところと通っていないところでは、床面の温度に多少の差が生じます。 | 異常ではありません。 |
| **床暖房の温度変更をしていないのに床面の温度が下がった** | 床暖房しはじめは、早く床面をあたためるために高温の温水を流し、ある程度時間がたつと、温水を一定の温度に下げます。 | 異常ではありません。 |
| | 【室温センサー付の場合】<br>リモコンの設定温度より、室温が高くなっている。 | リモコンの設定温度を上げる。 |
| **床暖房中に音がする** | 床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床材などが収縮・膨張するため発生する音、または温水の流れる音です。 | 異常ではありません。 |
| **床暖房を使用していないのに床があたたまることがある** | 暖房回路内の空気抜きや凍結予防のためにポンプが作動したときに、他の暖房放熱器を使用していると、一時的に床があたたまることがあります。 | 異常ではありません。 |



| こんなときは | こんなことが考えられます | 処置 |
|---|---|---|
| **床暖房の床面の足ざわりが場所によって異なる** | 温水配管やその接続部などがあるため、床面の足ざわりが周囲と異なる場合があります。 | 異常ではありません。 |
| **床暖房の床面に凹凸や段差がある** | 温水床暖房マットを2枚以上併設しているときや、床材と周辺の継ぎ合わせ部などには多少の凹凸があるため、光の当たり具合により目立つことがあります。 | 異常ではありません。 |
| **床暖房の床面の継ぎ目にすき間がある** | 暖房を使用することにより、乾燥して床材が収縮し、継ぎ目にわずかなすき間が生じる場合があります。 | 異常ではありません。 |
| **床暖房の床面が変色した** | 床材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。 | カーテンやブラインドで日差しをさえぎる。 |

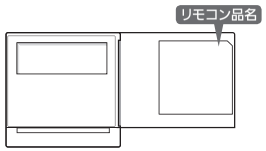
# アフターサービスについて

**●サービスを依頼されるとき**

P35～37の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

**【連絡していただきたい内容】**

- **品名**（リモコンのふたの中に記載の品名をご覧ください）
- **お買い上げ日**（保証書をご覧ください）
- **異常の状況**（できるだけくわしく）
- **ご住所、ご氏名、電話番号**
- **訪問ご希望日**




**●保証について**

この取扱説明書には保証書がついています。
必ず販売店名・お買い上げ日などが記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。
無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

**●補修用性能部品の保有期間**

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。





メモ



| 取扱説明書 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| FFR-14A-R30 | FFR-14A-R30K | 100493912831 | 100493912832 | 01 | |
| FFR-14A-R60 | FFR-14A-R60K | 100493912848 | 100493912853 | | |
| FFR-14A-RB | FFR-14A-RBK | 100493912849 | 100493912854 | | |
| FFR-14A-N30 | FFR-14A-N30K | 100493912845 | 100493912850 | | |
| FFR-14A-N60 | FFR-14A-N60K | 100493912846 | 100493912851 | | |
| FFR-14A-NB | FFR-14A-NBK | 100493912847 | 100493912852 | | |

| 取扱説明書 | FFR-14A-R30<br>FFR-14A-R60<br>FFR-14A-RB<br>FFR-14A-N30<br>FFR-14A-N60<br>FFR-14A-NB | FFR-14A-R30K<br>FFR-14A-R60K<br>FFR-14A-RBK<br>FFR-14A-N30K<br>FFR-14A-N60K<br>FFR-14A-NBK | 100493912831<br>100493912848<br>100493912849<br>100493912845<br>100493912846<br>100493912847 | 100493912832<br>100493912853<br>100493912854<br>100493912850<br>100493912851<br>100493912852 | | | 01 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|